

いわき市立桶売小学校「学校だより」

# おはつと



令和2年6月12日(金) 第9号 (発行者 校長 遠藤 修)

## <教育目標>

- ☆進んで学ぶ子ども(知)
- ☆健康でたくましい子ども(体)
- ☆みんなで助け合う子ども(徳)

### <校章の由来>

外形は学校を取り囲む山々を表し、その内側には健やかな成長と社会貢献を願い、杉の若芽が描かれています。



## 雨の日は本と友だちに



## 移動図書館「いわき号」



本日、学校再開後はじめて移動図書館が来校しました。新型コロナウイルスへの対策として、移動図書館利用のルールに新たに次のふたつが加わりました。まず、大きく変わった点として、児童は車の外で本を選び、車の中に入れるのは先生だけになります。また、児童が外で本を選ぶ際も必ずマスクを着用するようにと話がありました。少し不便に感じるかもしれませんが、利用者と図書館の職員の方の健康・安全を守るためには大切なことです。



これから、梅雨の季節をむかえます。外遊びができない雨の日はぜひ室内で静かに読書に取組ませたいものです。読書によって知識や教養が深まるばかりでなく、感情や記憶をつかさどる脳の領域が刺激されるそうです。大人の脳の活性化にも是非おすすめです。



作:学校司書 根本先生

## いよいよスタート! 総合的な学習の時間



臨時休業によってスタートが遅れてしまいましたが、今年度の総合的な学習のテーマに関する話し合いが4年生と6年生によって行われました。

子ども達から話を聞くと、昨年度に引き続き、ふるさとを盛り上げる活動をしていきたいということや、その際、「食べ物」「植物」「歴史」の3つの視点から学習を深めていきたいという願いをもっていることが伝わってきました。また、今年度は桶売の地域だけでなく、川前や小白井の地域も含めた川前町全体を盛り上げたいという意見も出され、今年のテーマは「川前町もりあげ隊」に決定しました。

新型コロナウイルスの影響で、人と人との直接的な交流が困難な中、どのように「ふるさとの良さ」を発信するか、子ども達の知恵と工夫が期待されます。



## 今年もやります! 「行灯づくり」

9日(火)、川前支所の方々と川前町賑わいづくり実行委員長さんが来校し、行灯づくりの説明をしてくださいました。

昨年から川前駅前の屋台村で展示する行灯(あんどん)を川前町の小中学校の児童生徒全員で制作しています。

昨年は「川前町 ふるさとの良さ」がテーマでしたが、今年は特にテーマを設けず、子ども達の自由な発想で作成してほしいとのことです。

子ども達は何を描くのでしょうか。とても楽しみです。



## 特別非常勤講師による書写指導



今年も特別非常勤講師として、東松院のご住職佐々木孝道先生に書写をご指導いただくことになりました。

10日(水)、県の教育委員会からの辞令をお渡しし、早速4年生と6年生の2時間分の授業をしていただきました。

毎年7月に開催される県の「たなばた展」は中止となり、市校長会主催の書写展も今年度は行われませんでした。発表の機会が減ってしまったことは残念ですが、先生に力をお借りしながら、書写力の向上に努めていきたいと思っております。



リアルタイム線量測定システムの数値(校庭)

0.086 μSV/h 6/12 9:50

(文部科学省HPの放射線モニタリング情報)

<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

桶売小学校 電話 0246-84-2230

Fax 0246-84-2240

在籍児童数 男子2名 女子2名 計4名

<https://iwaki.fcs.ed.jp/桶売小学校>

